

出前講座 「一関市と洪水」

- 開催日時：平成26年6月13日（金）14時00分から15時00分
- 開催場所：一関市立山目小学校
- 参加者：4年生児童 約70名

国土交通省岩手河川国道事務所では、総合的な学習の一環として出前講座を開催しております。

昨年に引き続き、平成26年6月13日（金）一関市立山目小学校の音楽室において出前講座が開催され、4年生児童約70名が参加しました。

講師の工務第三課外山課長から北上川についての概要や昭和22・23年に一関地域を襲った「カスリン・アイオン台風」で一関地域が受けた被害の様子や過去に起こった大洪水の状況、また水害常襲地帯である一関地域の洪水対策として、一関遊水地事業の果たす目的や役割、洪水時の心構えなどについて説明がありました。

児童の皆さんからは「ダムはなぜ造られるのですか」とか「仕事で大変なことは何ですか」など沢山の質問が出され、紙いっぱいメモを取りながら熱心に勉強しているようでした。

今日の出前講座を通じて、児童の皆さんは、自分達の住んでいる一関地域が、過去に何度も大洪水に見舞われてきたことや一関遊水地をはじめとした洪水対策により、一関地域がどのように守られているのか学習出来たようでした。



工務第三課外山課長による講義の開始。



児童の皆さんから沢山の質問がありました。



とても楽しく勉強出来たようでした。



今日は沢山教えて頂き、ありがとうございました。